

# 人口対策、 真つ向勝負。

証紙

公式サイトを  
ぜひご覧ください。

» saruta-kazumi.com



# さるた 和三

秋田県知事立候補者

かずみ

## ふるさと秋田に、人生を捧げる。

未来に素晴らしい秋田を残していきたいと思うことは、  
誰もが共有する思いです。

秋田に、もっともっと強い産業をつくりたい。

秋田を、もっともっと災害に強く、安心できる地域にしたい。

秋田に生まれた子どもたちが、もっともっと元気に活躍できる環境をつくりたい。

そのために、継続すべきものは、もっと早く、もっと強く進め、  
変えるべきものは、ためらわず、大胆に変えていきます。

秋田の最大課題である人口対策に真つ向勝負を挑み、覚悟を決めてやり抜きます。

ふるさと秋田に人生を捧げ、県民一丸で、次世代に誇れる秋田をつくります。

プロフィール / 1963年生まれ。野球に打ち込み、秋田高校、慶応義塾大学で野球部主将、日米大学野球日本代表主将を務めました。大学卒業後、秋田のために働きたいと秋田県庁に入庁、産業労働部長を経て2021年から副知事。産業振興では多くの企業誘致を成功させてきました。2024年11月、秋田県知事選挙への出馬を決意して副知事を辞任。秋田市御所野在住、妻と娘2人の4人家族。

## 県民一丸で次の秋田へ

多くの声を反映し、  
判断と実行をスピードアップします。

### 県民対話局(仮称)の設置

知事直轄の「県民対話局(仮称)」を設置し、県民対話を進めながらICTを活用して県民の意見を速やかに政策に反映できる体制をつくりたい。変化の激しい時代に対応していくため、政策の判断と実行を大幅にスピードアップし、県民の皆さまと一丸となって県政を運営していきます。

### 意思決定に女性の考えを

ジェンダーの固定観念を一掃し、性別にとらわれずに活躍できる秋田をつくるため、まずは女性の副知事を任命します。そして、意思決定できるポジションへの女性登用を進め、管理職の男女比率を早急に改善します。また、「女性会議」を立ち上げ、広く女性の声を政策に反映させていきます。

### 若者参加型の県政

秋田の未来をつくる大学生や若者の思いや考えを県政に反映するため、ICTも活用した「若者会議」を立ち上げ、在学中も含めた起業などの挑戦を支援します。そして、若者がこれからも秋田で活躍するために必要な政策の立案と事業の実施にも参加してもらえる仕組みをつくりたい。

# 覚悟を決めて、やり抜く。

## 1 所得を増やす

### 最低賃金目標を1.5倍に。

全国との賃金格差を解消し、中小企業の収益力を引き上げます。

また、食料供給基地秋田の地位を確固たるものにして、収益力の高い農業を実現します。



中小企業が物価上昇や賃上げ分を  
価格転嫁できる仕組みづくり

トップセールスによる  
商品・技術等のPR

官民連携による  
事業承継やM&Aの推進

高校生・大学生のインターンシップや  
外国人材の受入強化等の人材確保

副業・兼業による  
プロフェッショナル人材の活用

秋田米の生産増強と  
スマート農業の確立

園芸メガ団地の拡大と  
畜産振興による循環型農業

新規就農対策の強化

ほ場整備等基盤整備の推進、  
漁港・漁場整備と養殖の推進

林業の生産性向上と  
森林の循環利用・再造林の強化

再生可能エネルギー工業団地による  
未来型企業誘致

空路や航路、SNS配信による  
インバウンド強化

## 2 暮らしを守る

### 物価高対策費を2倍に。

まずは物価高対策、クマ対策、特殊詐欺対策を強化します。

医療・介護・福祉・交通の提供体制を盤石にし、インフラの維持と災害対策に万全を期します。



物価高で困窮している世帯への  
給付金

買物支援やエネルギー価格の  
高騰対策の実施

河川改修など防災インフラの強化  
と流域治水体制の構築

狩猟者の確保育成や里山管理等の  
地域の取組支援

特殊詐欺の徹底した広報活動

地域住民の助け合いによる  
ライドシェアシステム等の検討

内陸線、由利高原鉄道の集客力・  
収益力の強化支援

訪問看護、訪問介護の  
早急な立て直し

医療、介護、福祉の人材確保に  
向けた修学資金の充実と処遇改善

消化器がん、がんゲノム医療の推進など  
先進医療の提供によるがん対策

消防団員の確保など消防力の  
維持・強化

多様性条例の浸透と  
いじめやパワハラ撲滅

## 3 子どもを育む

### 給食費・医療費・保育料を無料に。

秋田は日本で最も少子化が進んでいるからこそ、生まれてきた子どもたちを日本一大切にす秋田、  
社会全体で子どもを育む秋田をつくります。



学校給食費、子どもの医療費、  
保育料の無償化

誰でも高等教育を受けられるよう  
奨学金制度の充実

子ども食堂やフリースクールを  
支援し、成長と学びをサポート

困難な環境にある子どもたち、障がい  
を持つ子どもたちへの支援拡充

男女とも育児休暇を  
取得しやすい就業環境の整備

保育士の確保や学童クラブの充実

職業体験や伝統文化、  
食育など知る機会の充実

芸術文化活動の活発化と  
人材の育成支援

スポーツの指導人材と  
世界で活躍するスポーツ選手の育成

社会問題になっている  
ヤングケアラーへの支援

ふるさと教育の充実

子ども国際交流団の派遣など  
双方向の交流促進